伊藤園

×

やまがた
Yamagata Keikan Monogatari
景観物語

「green Tea for good」は大谷翔平選手がグローバルアンバサダーを務めていることでも話題で、世界中で環境保全をテーマとした社会貢献活動を行うプロジェクトです。

ここ山形では、「やまがたの誇れる景観魅力発信事業」に協賛いただき、「お～いお茶」の売上の一部を企業版ふるさと納税として寄附いただける御縁で、「社会貢献活動をぜひやまがた景観物語おすすめビューポイントで。」という要望をいただいたことから、当課でも連携して活動をしてまいりました。

【Green Tea for Goodプロジェクト IN 酒田市玉簾の滝】

酒田市「玉簾の滝」は、７月25日の大雨災害で大きく被災したビューポイントです。
伊藤園では「お茶で山形を美しく。」をテーマに、地域の方々の復興を応援する保全活動を企画し、１０月１４日祝日に開催しました。

県では、地域の方々が必要とするサポートができるよう、橋渡し役として、伊藤園と景観保全団体との間に入り、被災状況の確認や作業内容等の調整を行い、参加者募集の広報、プレスリリース等で連携してまいりました。

当日は、「滝の里活性化委員会」はじめ酒田市升田地区住民、県内各地からの一般ボランティア参加者、鳥海八幡インタープリター協会、公益大学の学生、県、伊藤園の職員総勢約５０人以上が集まり、豪雨の土石で埋まった遊歩道の水路を堀りおこす作業を行いました。

今回、県では民間企業と連携・協力した初の景観保全活動でしたが、被災したビューポイントを守っている地域の方々が必要とする人的支援と、被災状況を多くの方に知っていただくことで、復興を後押しし、これからも「山形の景観」を次の世代に繋げていければと思います。

しかしながら、この場所はライフラインに影響がないため、被災したこともあまり知られておらず、現段階で公的な支援はありません。景観の美しさを楽しむだけではなく、このプロジェクトを通して、景観を守る地域の皆様に想いを寄せていただき、訪れた際には励ましのお声がけいただければ幸いです。

さわやかな秋晴れの中、開会の挨拶が行われ、マスコミ関係者も取材に駆けつけていただきました。

実際に作業を行う現場で、地元の「滝の里活性化委員会」から、７月25日の大雨による被災状況の報告と作業内容の説明がありました。

水路には大きな土石で埋まっており、掘り起こすのが大変な作業でした。山からの土石を一瞬で押し流した自然の破壊力を思い知りました。

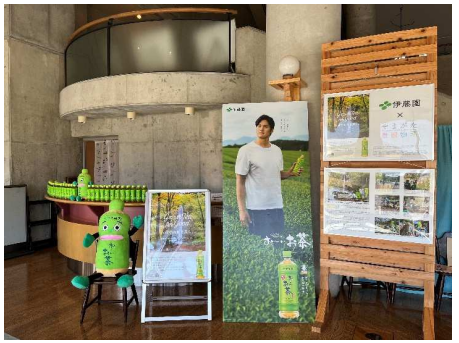
それぞれ道具を持ち寄り、つるはしを持っている方が柔らかくした後、スコップを持った方が土を台車に乗せ、皆さんで協力しながら作業を進めました。

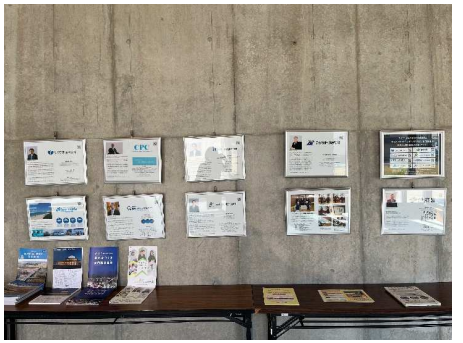
開催後、参加者参加者には、伊藤園より限定の大谷翔平選手のオリジナルパッケージボトルが配られました。

【やまがた景観物語交流イベントへの協力】

景観交流イベントでは、Green Tea For Good Project「お茶で山形を美しく。」のブースを出展。
グローバル・アンバサダーを務める大谷翔平選手の等身大パネルと共に、県土利用政策課で制作した玉簾の滝（おすすめビューポイントNo.31）での景観復興保全活動報告も展示させていただきました。
イベントのゲストや参加者の全員へ「お～いお茶」が振舞われました。

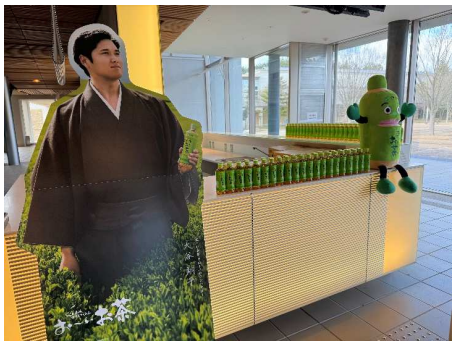
村山会場では、保全活動の参加者を募集を周知、総勢132名の参加者やトークゲスト、保全団体にお茶を提供。





置賜会場では、保全活動報告の展示と、総勢約82名の参加者やトークゲスト、保全団体にお茶を提供。

最上会場では、保全活動報告の展示と、総勢83名の参加者やトークゲスト、保全団体にお茶を提供。



庄内会場では、保全活動報告の展示と、総勢93名の参加者やトークゲスト、保全団体にお茶を提供。